

品質向上型実施計画承認（変更承認）申請書

番 号
年 月 日

〇〇農政局長^{注)1} 殿

住 所
事業実施者名
代表者氏名 印

果実等生産出荷安定対策実施要綱（平成13年4月11日付け12生産第2774号農林水産事務次官依命通知）第4の2の(3)のアの(ウ)のa^{注)2}に基づき、別添のとおり実施計画の承認（変更承認）を申請します。

注) 1 北海道にあつては農林水産省生産局長あて、沖縄県にあつては内閣府沖縄総合事務局長あてとする。

2 変更の場合は、第4の2の(3)のアの(ウ)のaを第4の2の(3)のアの(ウ)のdとする。

(別添)

品質向上型実施計画

事業実施者名
担当者所属氏名
電話番号
FAX
メールアドレス

1 総括表

事業内容	事業費	負担区分			備考
		補助金 (指定法人分)	自己負担	その他	
(品質向上促進 費又は合意に基 づく取組)	円	円	円	円	
合 計	円	円	円	円	

- 注) 1 補助金の合計は、高品質加工原料用果実価格引上計画を定めない場合は、上位等級品の数量に1kg当たり1円以上出荷価格を引き上げた年度は3円/kgを乗じた額、翌年度は2円/kgを乗じた額、翌々年度は1円/kgを乗じた額とする。
- 2 合意に基づく取組を実施する場合には、備考欄に仕入れに係る消費税等相当額について、減額した場合には「除税額〇〇円、うち補助金〇〇円」、同税額がない場合には「該当なし」、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入する。
- 3 実施状況報告に当たっては、実施計画と金額・数量が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

2 長期取引計画 (実績)

果実名	長期契 約の相 手先	用途	対象取 引期間	長期契約出荷量(kg)						関係 農家 数
				区分	〇〇 年産	〇〇 年産	〇〇 年産	〇〇 年産	〇〇 年産	
計										

- 注) 1 長期契約出荷量欄については、品質取引導入後は区分別に品質取引の導入又は上

位等級品の取引価格を1円/kg以上引き上げた前年産から4年分について記述する。

- 2 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

3 品質取引

果実名	前年産				当該年産				備考
	区分	内容	取引価格	長期契約に基づく出荷数量	区分	内容	取引価格		長期契約に基づく出荷数量
			①				②	②-①	
			円/kg	kg			円/kg	円/k	kg

注) 1 備考欄には、新規に品質取引を導入した年又は上位等級品の取引価格を1円/kg以上引き上げた年産を記入する。

2 前年産において、当該年産と同様の区分で品質取引が行われていた場合には、適宜当該年産の欄にある点線を前年産にも伸ばして記述する。

3 実施状況報告に当たっては、実施計画と金額・数量が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

4 事業の内容

(1) 生産者に対する品質向上促進費の交付

果実名	区分	原料価格	その他奨励金等	交付単価	農家手取り価格	長期契約に基づく出荷数量	交付総額	備考
		①	②	③	①+②+③	④	③×④	
		円/kg	円/kg	円/kg	円/kg	kg	円	

注) 1 実施状況報告に当たっては、実施計画と金額・数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

2 ②のその他奨励金等が加工園地特定型の生産者補給金の場合は、備考欄に「生

産者補給金」と記入する。

(2) 長期契約先との合意に基づく取組

① 検討会

検討会	開催時期	検討項目及び内容	参集者の構成 及び人数	備考
	年 月 日		人	

注) 1 調査時期の欄は、日程が具体的に決まっていない場合は、○月○旬と記入する。
2 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

② 現地調査

調査時期	調査場所 (調査品目)	調査人数	調査事項	調査方	備考
年 月 日		人			

注) 1 調査時期の欄は、日程が具体的に決まっていない場合は、○月○旬と記入する。
2 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

③ 産地指導

産地指導時期	品目	指導者数	農家数	指導内容	備考
年 月 ～ 年 月		人	人		

注) 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

④ 栽培技術の実証

実証時期	実施場所	実証課題	実証内容	備考
年 月 ～ 年 月				

注) 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

⑤ 製造設備の最適化調査

調査時期	調査場所 (調査品目)	調査人数	調査事項	調査方法	備考
		人			

- 注) 1 調査時期の欄は、日程が具体的に決まっていない場合は、〇月〇旬と記入する。
2 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

⑥ 果実加工品の需要調査

調査時期	調査場所 (調査品目)	調査人数	調査事項	調査方法	備考
		人			

- 注) 1 調査時期の欄は、日程が具体的に決まっていない場合は、〇月〇旬と記入する。
2 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

⑦ 果実加工品の販売促進活動

実施場所	回数	人数	内容	備考
	回	人		

- 注) 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

⑧ 報告書等の作成及び配布等

報告書等の名称	内容等	作成部数等	備考
		部	

- 注) 実施状況報告に当たっては、実施計画と数量等が変わる場合は、計画を上段に括弧書きで、実績を下段に記入する。

5 経費の配分

	負担区分	
--	------	--

事業に要する(又は要した)経費	事業に要する(又は要した)経費			摘要
	補助金 (指定法人分)	自己負担	その他	
円	円	円	円	

注) 負担区分のその他の欄は、摘要にその内訳を記入する。

6 事業完了予定年月日 (又は完了年月日)

7 収支予算 (又は精算)

(1) 収入の部

区 分	本年度予算額(又は本年度精算額)	前年度予算額 (又は本年度 予算額)	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補助金 自己負担金 その他	円	円	円	円	
計					

(2) 支出の部

区 分	本年度予算額 (又は本年度精 算額)	前年度予算額 (又は本年度 予算額)	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補助金 自己負担金 その他	円	円	円	円	
計					

注) 1 実施状況報告に当たっては、「(又は～)」の文言に変更の上、記入する。

2 区分の欄のその他は、備考にその内訳を記入する。

(添付書類)

実施計画には以下の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)及び(12)、実施状況報告書には(7)、(8)、(9)、(10)、(11)及び(12)を添付する。

- (1) 定款
- (2) 業務概要
- (3) 長期契約書の写し
- (4) 長期契約取引と品質向上型との関係整理表(別紙1)
- (5) 長期取引先との合意に基づく取組を実施する場合は合意書の写し(参考様式:別紙2)
- (6) 高品質加工原料用果実価格引上計画の写し(定めた場合に限る。)(別紙3)
- (7) 価格表等の上位等級品の価格を引き上げたことがわかる書類
- (8) 出荷伝票等の長期契約に基づく出荷実績が確認できる書類
- (9) 補助金交付決定通知の写し
- (10) 口座振込伝票等の生産者への支払いが確認できる書類の写し
- (11) 長期契約先との合意により行う取組を実施した場合は、口座振込伝票等の支払いが確認できる書類の写し
- (12) その他、地方農政局長等が必要と認める書類

(別紙1)

長期契約取引と品質向上型との関係整理表

果実名 (用途)	果実加工業者 (所在地)	加工用果実出荷者 (所在地)	〇〇年産 契約数量 (kg)	事業申請者	
				果実加工 業者	加工用果 実生産出 荷者
合 計					

- 注) 1 本整理表は、長期契約を結んでいる果実加工業者と生産出荷団体等の加工用果実
出荷者の間で調整した上で作成・記入する。
- 2 加工用果実出荷者が申請する場合は、当該加工用果実出荷者の長期契約先である
果実加工業者が、当該加工用果実出荷者以外に行っている長期契約分も記入する。
- 3 果実加工業者及び加工用果実出荷者の所在地は、本社等が所在する都道府県名を
記入する。
- 4 事業申請者欄は、本事業の申請を果実加工業者が行うか、加工用果実出荷者が行う
かにつき、該当する欄に○印を記入する。

(別紙2)

合 意 書

〇〇〇 (以下「甲」という。)と□□□ (以下「乙」という。)は、乙が事業実施者として申請する果実等生産出荷安定対策実施要領 (平成13年4月11日付け12生産第2775号農林水産省生産局長通知通知) 第3の2の(3)のアの(エ)の事業実施者が長期契約先との合意により行う取組について、次のとおり合意した。

合意内容

1 合意の対象とする長期契約数量 (〇〇年産果実)

果実の種類 〇〇〇

数量 (単位 k g) 〇〇〇

2 取組の内容

〇〇〇

〇〇〇

以上のとおり、甲と乙の間に事業実施に関する合意が成立した証として、本書を2通作成し、甲乙それぞれ署名捺印の上各1通を保有する。

平成 年 月 日

(甲) 加工用果実出荷者 住 所
 会 社 名
 代表者名

社印
印

(自署又は記名/捺印)

(乙) 果実加工業者 住 所
 (事業実施主体) 会 社 名
 代表者名

社印
印

(自署又は記名/捺印)

(別紙3)

高品質加工原料用果実価格引上計画

1 加工原料用果実の取引価格

果実名	区分	内容	長期契約に基づく取引価格(円/kg)					備考
			23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	

注) 1 取引価格は、選果場渡し価格を基準とする。

2 取引価格の取決期間は、2年以上5年以内とし、記入欄は適宜調整する。

2 取組の内容

(1) 製品歩留まり向上のための高品質な加工原料用果実の供給拡大

(2) 製造コスト削減のための製造設備の合理化

(3) その他必要な取組

- 3 ○○○（以下「甲」という。）と□□□（以下「乙」という。）は、長期取引契約に基づく取引価格及びそのための取組について、以下のとおり合意し、本計画を作成した。
その証として、本書を2通作成し、甲乙それぞれ署名捺印の上各1通を保有する。

平成 年 月 日

(甲) 加工用果実出荷者	住 所	
	会 社 名	社印
	代表者名	印
		(自署又は記名/捺印)

(乙) 果実加工業者 (事業実施主体)	住 所	
	会 社 名	社印
	代表者名	印
		(自署又は記名/捺印)

品質向上型補助金交付申請書

番 号
年 月 日

都道府県法人理事長 殿

住 所
事業実施者名
代表者氏名 印

果実等生産出荷安定対策実施要綱（平成13年4月11日付け12生産第2774号農林水産事務次官依命通知）第4の2の(3)のアの(エ)のaの(a)に基づき、下記のとおり補助金の交付を申請します。

記

1 補助金交付申請額 円

2 補助金交付申請額 内訳

事業内容	事業費	補助金交付額	摘要
	円	円	
計	円	円	

品質向上型実施状況報告書

番 号
年 月 日

〇〇農政局長^{注)1} 殿

住 所
事業実施者名
代表者氏名 印

果実等生産出荷安定対策実施要領（平成13年4月11日付け12生産第2775号農林水産省生産局長通知）第3の2の(3)のアの(ウ)のeに基づき、別添のとおり事業実施状況を報告します。

- 注) 1 北海道にあつては農林水産省生産局長あて、沖縄県にあつては内閣府沖縄総合事務局長あてとする。
- 2 別添は、様式9-1の別添によることとする。

品質向上型補助金実績報告書兼支払請求書

番 号
年 月 日

都道府県法人理事長 殿

住 所
事業実施者名
代表者氏名

印

果実等生産出荷安定対策実施要綱（平成13年4月11日付け12生産第2774号農林水産事務次官依命通知）第4の2の(3)のアの(オ)のaに基づき、補助金の実績を報告します。
併せて、下記のとおり補助金の支払を請求します。

記

1 交付決定額

円

2 補助金実績額及び請求額

円

3 補助金実績額及び請求額 内訳

事業内容	事業費	補助金実績額及び請求額	摘要
	円	円	
計	円	円	

注) 別添として以下のものを添付する。

- (1) 口座振込伝票等の品質向上促進費の支払いが確認できる書類の写し
- (2) 長期契約先との合意により行う取組を実施した場合は、口座振込伝票等の支払いが確認できる書類の写し
- (3) 事業実施者の振込先口座名義、口座番号等を記載した書類